

II 病院報告

1 患者数

(1) 1日平均在院・新入院・退院患者数

令和2年中における全国の病院の1日平均在院患者数は1,165,389人で、前年に比べ5.6%減少している。

このうち、「精神科病院」は210,916人で、前年に比べ1.1%減少し、「一般病院」は954,473人で、前年に比べ6.5%減少している。

一般病院の1日平均在院患者数を病床の種類別にみると、「精神病床」は64,959人、「療養病床」は252,747人、「一般病床」は633,307人で、「療養病床」のうち「介護療養病床」は17,040人となっている。

また、1日平均新入院患者数は41,104人、1日平均退院患者数は41,262人となっている。

療養病床を有する診療所の「療養病床」の1日平均在院患者数は3,545人で、「療養病床」のうち「介護療養病床」は1,187人となっている。（表1、図1）

（参考）統計表16 年間患者数，病院の種類－病床の種類別にみた1日平均患者数の年次推移

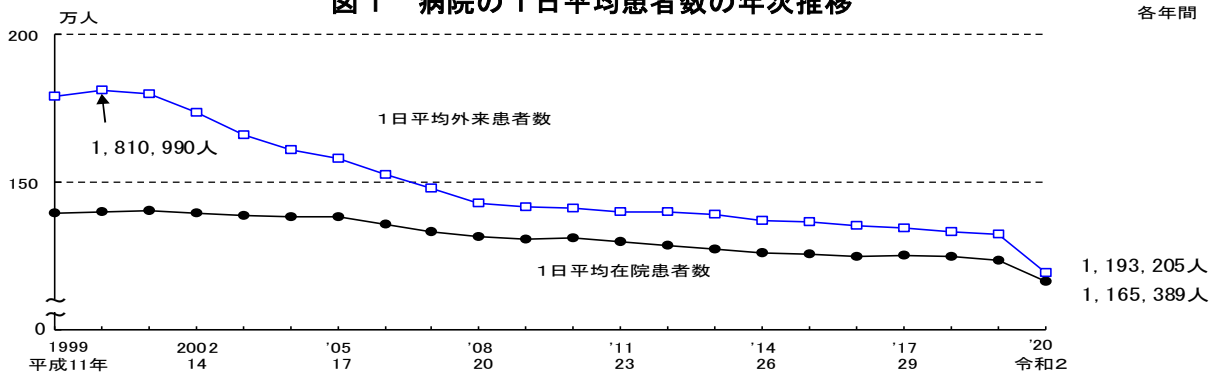
表1 1日平均在院・新入院・退院患者数

	1日平均在院患者数			1日平均新入院患者数			1日平均退院患者数		
	令和2年 (2020)	令和元年 (2019)	対前年 増減率	令和2年 (2020)	令和元年 (2019)	対前年 増減率	令和2年 (2020)	令和元年 (2019)	対前年 増減率
病 院	人	人	%	人	人	%	人	人	%
総 数	1 165 389	1 234 144	△ 5.6	41 104	45 134	△ 8.9	41 262	45 183	△ 8.7
精 神 科 病 院	210 916	213 237	△ 1.1	672	709	△ 5.2	686	716	△ 4.2
一 般 病 院	954 473	1 020 906	△ 6.5	40 432	44 425	△ 9.0	40 576	44 467	△ 8.8
精 神 病 床	64 959	68 089	△ 4.6	311	341	△ 8.8	324	351	△ 7.7
感 染 症 病 床	2 147	73	2 841.1	255	9	2 733.3	188	8	2 250.0
結 核 病 床	1 313	1 474	△ 10.9	24	24	0.0	22	22	0.0
療 養 病 床	252 747	270 979	△ 6.7	1 156	1 257	△ 8.0	1 781	1 894	△ 6.0
一 般 病 床	633 307	680 292	△ 6.9	38 686	42 794	△ 9.6	38 261	42 192	△ 9.3
(再掲) 介護療養病床 ¹⁾	17 040	30 226	△ 43.6	28	60	△ 53.3	59	91	△ 35.2
療養病床を有する診療所									
療 養 病 床	3 545	4 186	△ 15.3	22	29	△ 24.1	30	38	△ 21.1
(再掲) 介護療養病床 ¹⁾	1 187	1 556	△ 23.7	6	9	△ 33.3	7	10	△ 30.0

注：1) 介護療養病床は療養病床の再掲である。

2) 途中で病院の種類が変更された場合、患者数は月末時の病院の種類別で計上している。

図1 病院の1日平均患者数の年次推移



注：東日本大震災の影響により、平成23年3月分の報告において、病院の合計11施設（岩手県気仙医療圏1施設、岩手県宮古医療圏1施設、宮城県石巻医療圏2施設、宮城県気仙沼医療圏2施設、福島県相双医療圏5施設）は、報告のあった患者数のみ集計した。熊本地震の影響により、平成28年4月分の報告において、熊本県の病院1施設（阿蘇医療圏）は、報告がなかったため除いて集計した。平成30年7月豪雨の影響により、平成30年7月分、8月分の報告において、広島県の病院1施設（尾三医療圏）は、報告がなかったため除いて集計した。令和2年7月豪雨の影響により、令和2年6月分、7月分の報告において、熊本県の病院1施設（球磨医療圏）は、報告のあった患者数のみ集計した。

(2) 病院の1日平均外来患者数

病院の1日平均外来患者数は1,193,205人で、前年に比べ9.9%減少している。

このうち、「精神科病院」は55,697人で、前年に比べ4.6%減少し、「一般病院」は1,137,508人で、前年に比べ10.2%減少している。(表2)

人口10万対1日平均外来患者数は全国945.9人で、前年(1,050.1人)に比べ104.2人減少している。

都道府県別にみると、高知県(1,615.1人)が最も多く、次いで徳島県(1,393.0人)となっており、神奈川県(713.0人)、埼玉県(771.3人)などが少なくなっている。(図2)

(参考)

統計表 16 年間患者数、病院の種類-病床の種類別にみた1日平均患者数の年次推移

統計表 17 人口10万対1日平均患者数・病床の種類別にみた病床利用率・平均在院日数の年次推移

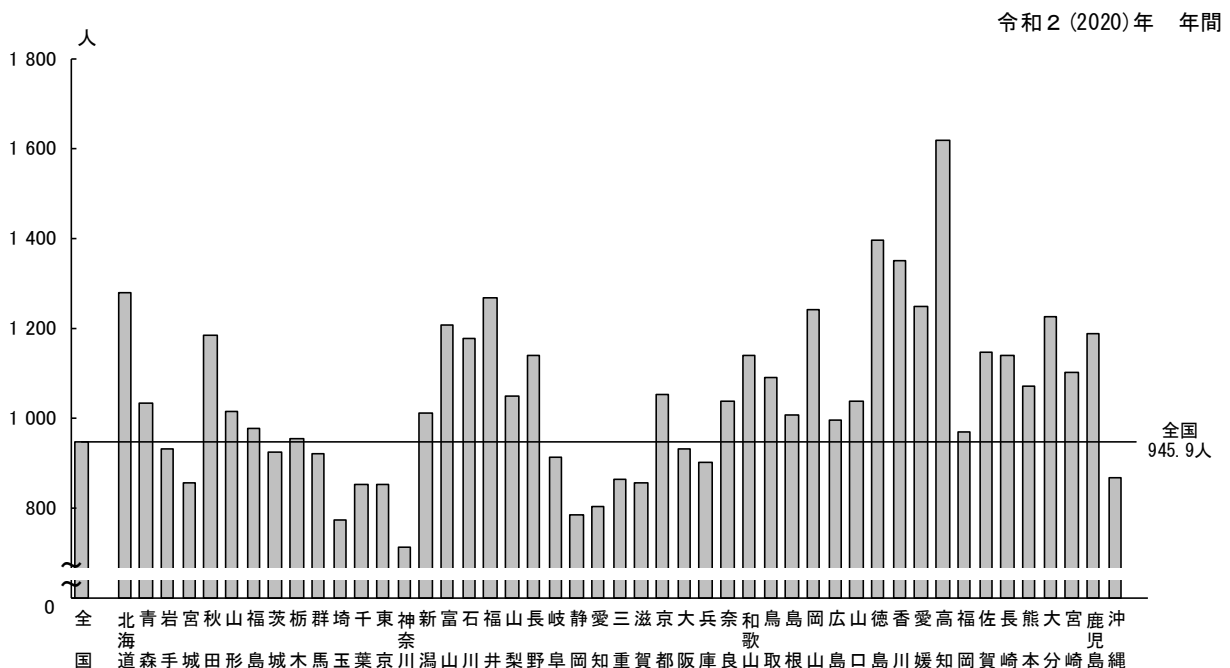
統計表 18 都道府県-指定都市・特別区・中核市(再掲)別にみた人口10万対1日平均患者数

表2 病院の1日平均外来患者数

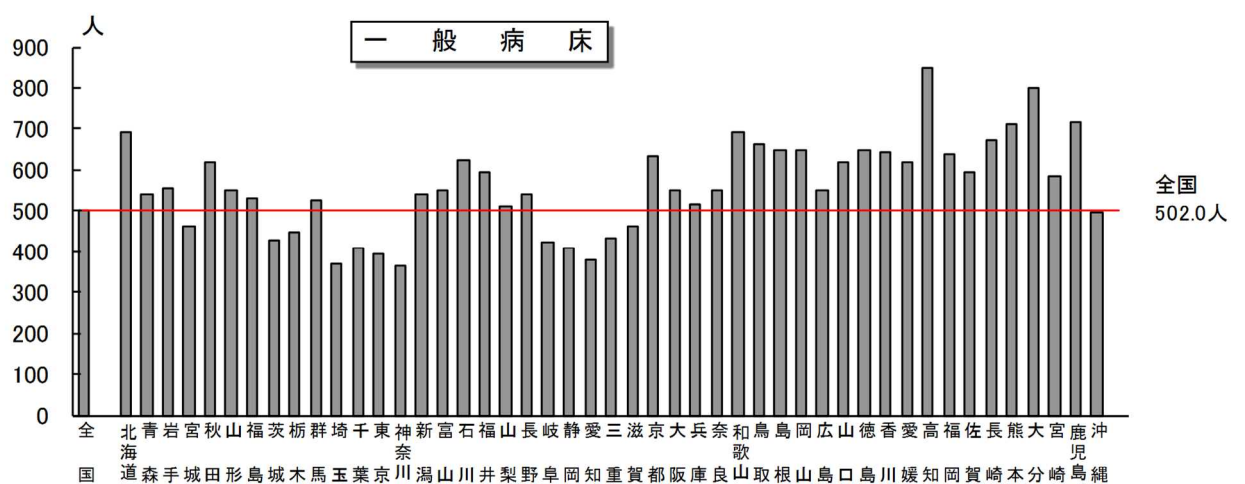
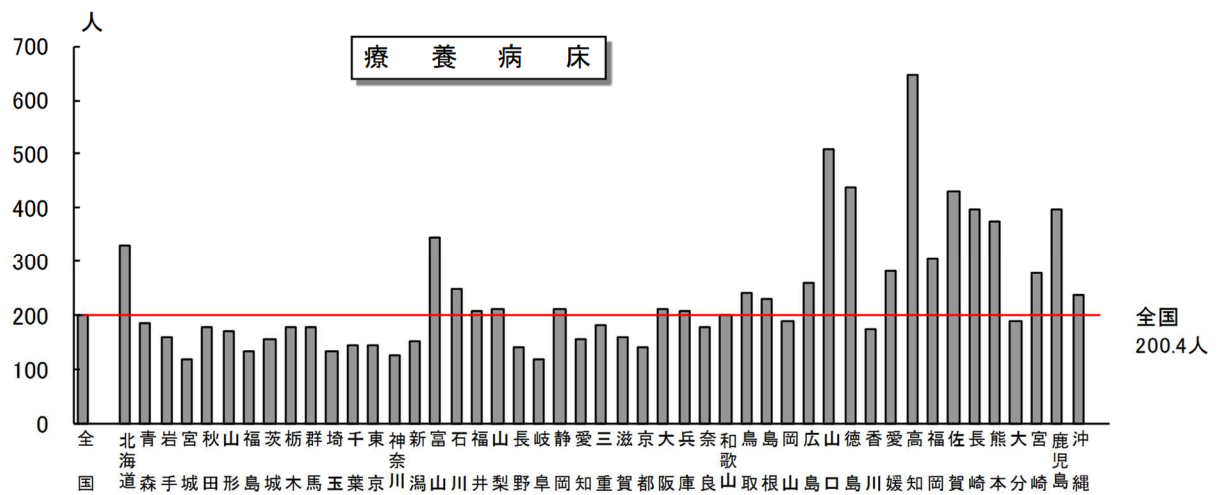
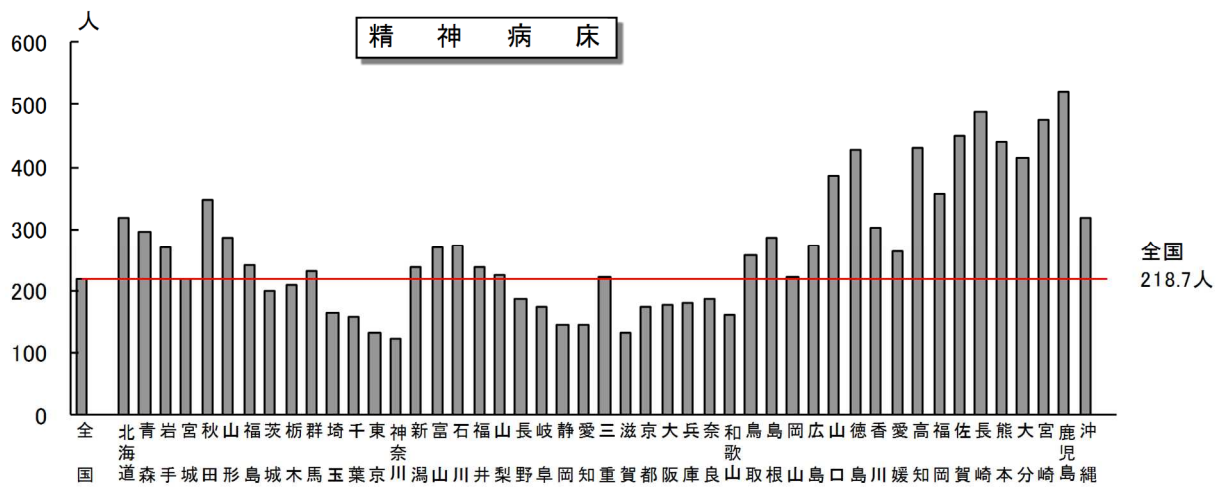
	1日平均外来患者数		対前年 増減率
	令和2年 (2020)	令和元年 (2019)	
病院 総 数	1 193 205 人	1 324 829 人	△ 9.9 %
精 神 科 病 院	55 697	58 405	△ 4.6
一 般 病 院	1 137 508	1 266 423	△ 10.2

注：令和2年7月豪雨の影響により、令和2年6月分、7月分の報告において、熊本県の病院1施設(球磨医療圏)は、報告のあった患者数のみ集計した。

図2 病院の都道府県別にみた人口10万対1日平均外来患者数



注：令和2年7月豪雨の影響により、令和2年6月分、7月分の報告において、熊本県の病院1施設(球磨医療圏)は、報告のあった患者数のみ集計した。



2 病床利用率

病院の病床利用率は77.0%で、前年に比べ3.5ポイント低下している。

病床の種類別にみると、「精神病床」は84.8%で前年に比べ1.1ポイント低下している。「療養病床」は85.7%で前年に比べ1.6ポイント低下している。「一般病床」は71.3%で前年に比べ5.2ポイント低下している。また、「介護療養病床」は88.1%で前年に比べ2.6ポイント低下している。

療養病床を有する診療所の「療養病床」の病床利用率は51.2%で、「介護療養病床」は68.1%となっている。(表3)

(参考) 統計表 17 人口10万対1日平均患者数・病床の種類別にみた病床利用率・平均在院日数の年次推移

表3 病床の種類別にみた病床利用率

	病床利用率		各年間
	令和2年 (2020)	令和元年 (2019)	対前年 増減
病院	%	%	
全病床	77.0	80.5	△ 3.5
精神病床	84.8	85.9	△ 1.1
感染症病床	114.7	3.8	110.9
結核病床	31.5	33.2	△ 1.7
療養病床	85.7	87.3	△ 1.6
一般病床	71.3	76.5	△ 5.2
介護療養病床	88.1	90.7	△ 2.6
療養病床を有する診療所			
療養病床	51.2	54.1	△ 2.9
介護療養病床	68.1	70.1	△ 2.0

注：1) 小数点第1位の数値は、小数点第2位を四捨五入して表示している。

2) 在院患者数は許可(指定)病床数にかかわらず、毎日24時現在に在院している患者数をいう。
このため、感染症病床の在院患者数には、緊急的な対応として一般病床等に在院する者を含むことから病床利用率は100%を上回ることがある。

3 平均在院日数

(1) 病床の種類別にみた平均在院日数

病院の平均在院日数は28.3日で、前年に比べ1.0日長くなっている。

病床の種類別にみると、「精神病床」は277.0日で前年に比べ11.2日長くなっている。「療養病床」は135.5日で前年に比べ0.4日短くなっている。「一般病床」は16.5日で前年に比べ0.5日長くなっている。また、「介護療養病床」は287.7日で、前年に比べ13.7日短くなっている。

また、療養病床を有する診療所の「療養病床」は107.6日で、「介護療養病床」は150.7日となっている。(表4、図4)

(参考) 統計表 17 人口10万対1日平均患者数・病床の種類別にみた病床利用率・平均在院日数の年次推移

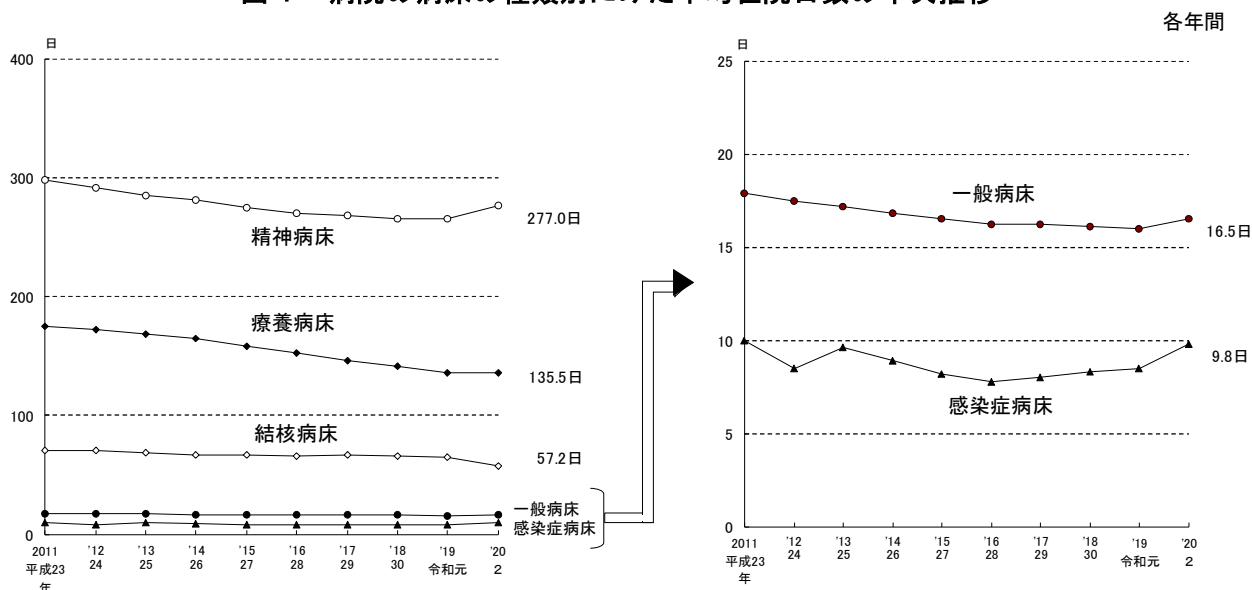
表4 病床の種類別にみた平均在院日数

	平均在院日数		対前年増減数
	令和2年(2020)	令和元年(2019)	
病院			
全病床	28.3	27.3	1.0
精神病床	277.0	265.8	11.2
感染症病床	9.8	8.5	1.3
結核病床	57.2	64.6	△ 7.4
療養病床	135.5	135.9	△ 0.4
一般病床	16.5	16.0	0.5
介護療養病床	287.7	301.4	△ 13.7
介護療養病床を除く全病床	27.9	26.7	1.2
療養病床を有する診療所			
療養病床	107.6	99.9	7.7
介護療養病床	150.7	140.1	10.6

注：1) 平均在院日数の計算式は5頁を参照。

2) 令和2年7月豪雨の影響により、令和2年6月分、7月分の報告において、熊本県の病院1施設(球磨医療圏)は、報告のあった患者数のみ集計した。

図4 病院の病床の種類別にみた平均在院日数の年次推移



注：東日本大震災の影響により、平成23年3月分の報告において、病院の合計11施設(岩手県気仙医療圏1施設、岩手県宮古医療圏1施設、宮城県石巻医療圏2施設、宮城県気仙沼医療圏2施設、福島県相双医療圏5施設)は、報告のあった患者数のみ集計した。
 熊本地震の影響により、平成28年4月分の報告において、熊本県の病院1施設(阿蘇医療圏)は、報告がなかったため除いて集計した。
 平成30年7月豪雨の影響により、平成30年7月分、8月分の報告において、広島県の病院1施設(尾三医療圏)は、報告がなかったため除いて集計した。
 令和2年7月豪雨の影響により、令和2年6月分、7月分の報告において、熊本県の病院1施設(球磨医療圏)は、報告のあった患者数のみ集計した。

(2) 病院の都道府県別にみた平均在院日数

病院の平均在院日数を都道府県別にみると、「全病床」は高知県(42.5日)が最も長く、東京都(22.9日)が最も短くなっている。「精神病床」は山口県(447.3日)が最も長く、東京都(199.9日)が最も短くなっており、「療養病床」は富山県(213.2日)が最も長く、長崎県(90.7日)が最も短くなっている。「一般病床」では高知県(21.2日)が最も長く、愛知県(14.0日)が最も短くなっている(表5、図5)

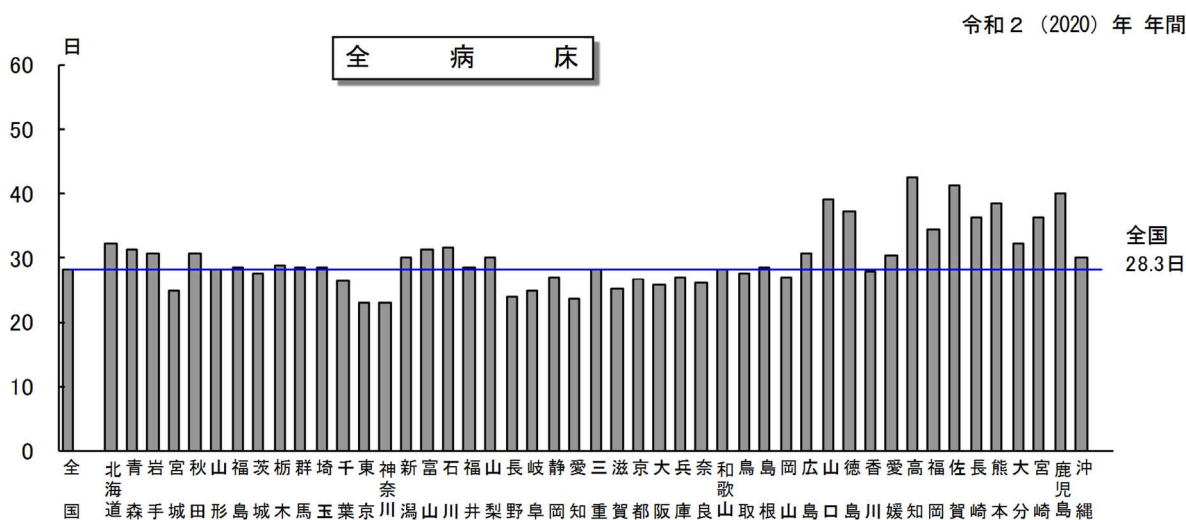
(参考) 統計表 19 都道府県—指定都市・特別区・中核市(再掲)別にみた病床利用率及び平均在院日数

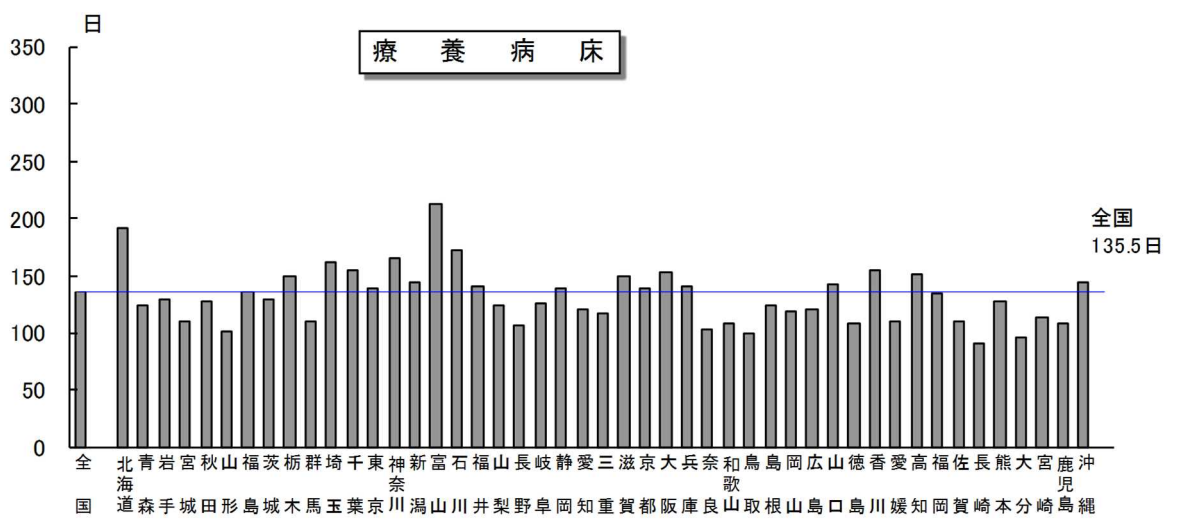
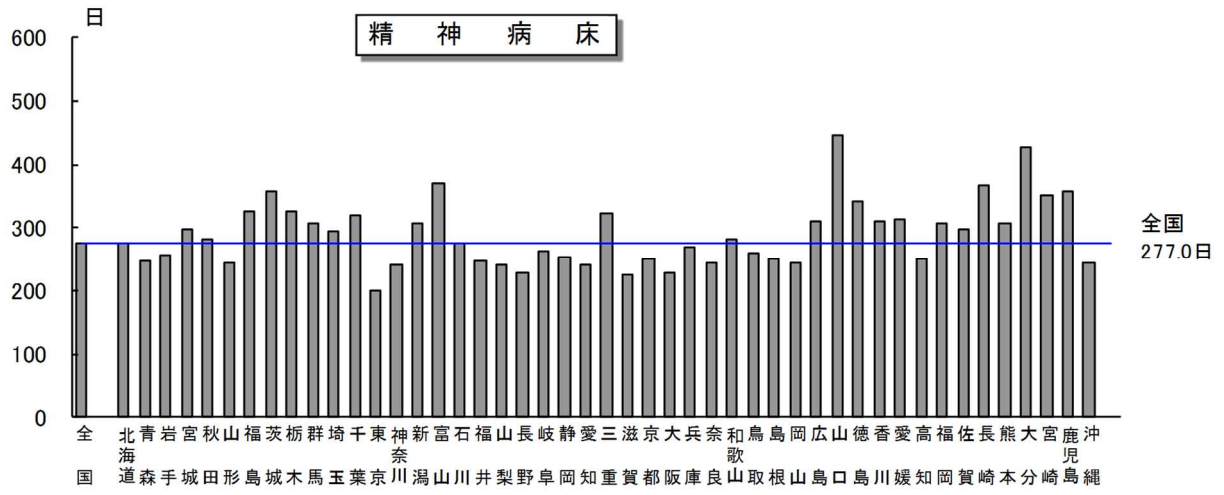
表5 病院の平均在院日数 令和2(2020)年 年間

(単位:日)		表5 病院の平均在院日数				令和2(2020)年 年間			
		全病床		精神病床		療養病床		一般病床	
全国		28.3		277.0		135.5		16.5	
長い県	高 知	42.5	山 口	447.3	富 山	213.2	高 知	21.2	
	佐 賀	41.3	大 分	428.2	北 海 道	192.7	熊 本	20.0	
	鹿 児 島	40.0	富 山	369.1	石 川	173.5	和 歌 山	19.6	
	山 口	39.0	長 崎	367.0	神 奈 川	166.1	鹿 児 島	19.5	
	熊 本	38.5	鹿 児 島	358.8	埼 玉	161.9	大 分	19.4	
∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	
短い県	岐 阜	24.7	神 奈 川	239.9	奈 良	102.3	岐 阜	15.3	
	長 野	24.0	大 阪	229.6	山 形	101.8	宮 城	15.1	
	愛 知	23.7	長 野	229.2	鳥 取	99.8	東 京	14.3	
	神 奈 川	23.0	滋 賀	224.2	大 分	95.4	神 奈 川	14.3	
	東 京	22.9	東 京	199.9	長 崎	90.7	愛 知	14.0	
(最長—最短)	19.6		247.4		122.5		7.2		

注: 1) 平均在院日数の計算式は5頁を参照。
 2) 小数点第1位の数値は、小数点第2位を四捨五入して表示している。
 3) 数値が同率であった場合、四捨五入する前の数値を基に表示している。
 4) 令和2年7月豪雨の影響により、令和2年6月分、7月分の報告において、熊本県の病院1施設(球磨医療圏)は、報告のあった患者数のみ集計した。

図5 病院の都道府県別にみた平均在院日数





注：令和2年7月豪雨の影響により、令和2年6月分、7月分の報告において、熊本県の病院1施設（球磨医療圏）は、報告のあった患者数のみ集計した。

